
第37回全国高等専門学校 プログラミングコンテスト 本選実施要項(参加要項)

この要項は、本選実施に関する重要なものです。本選に出席される関係者に至急お渡ししてください。

課題部門・自由部門・競技部門については9月1日(火)17:00締切及び10月2日(金)17:00締切で提出いただきたい書類等がありますので、内容のすべてに必ず目を通してください。

また、本選時にはこの資料を必ず手元に置いてください。

第37回全国高等専門学校プログラミングコンテスト実行委員会

第 37 回全国高等専門学校プログラミングコンテスト

本選実施要項(参加要項)

この要項は、本選実施に関する重要なものです。本選に出席される関係者に至急お渡しください。

1. 大会全般についての連絡事項(各部門共通).....	1
1.1 主催・共催・後援・協賛・役員.....	1
1.2 参加者	2
1.3 審査委員	2
1.4 会場案内	3
1.5 日程	3
1.6 提出書類等	4
[1] 9月1日(火)17:00 締切分	4
[2] 10月2日(金)17:00 締切分	4
1.7 知的財産権の侵害について.....	7
1.8 著作物等の扱いについて.....	7
1.9 行動規範について.....	8
1.10 表彰について.....	8
1.11 参加登録および昼食の予約について.....	9
1.12 名刺クエストについて.....	10
1.13 学生交流会	10
1.14 情報交換会	10
1.15 特別講演会	10
1.16 会場使用上の注意点について.....	10
1.17 その他の注意事項.....	10
1.18 問い合わせ先.....	10
2. 課題・自由部門についての連絡事項.....	11
2.1 システムの搬入・搬出について.....	11
2.2 プレゼンテーションについて	11
2.3 デモンストレーションについて.....	12
2.4 本選審査手順について.....	14
3. 競技部門についての連絡事項.....	16
3.1 試合の実施	16
3.2 予行演習	16
3.3 競技部門の賞.....	16
3.4 注意事項	16

本選実施要項 付録

- 付録1 会場案内図
- 付録2 交通案内図
- 付録3 課題部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル
- 付録4 自由部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル
- 付録5 ブースの概略寸法
- 付録6 デモンストレーション審査, マニュアル審査タイムテーブル
- 付録7 競技部門の組合せ
- 別紙資料1 課題・自由・競技部門 同意書
- 別紙資料2 課題・自由部門 パンフレット執筆要項
- 別紙資料3 課題・自由部門 プログラムソースリスト表紙例
- 別紙資料4 課題・自由部門 操作マニュアル表紙例
- 別紙資料5 課題・自由部門 チェックリスト
- 別紙資料6 競技部門 パンフレット執筆要項
- 別紙資料7 競技部門 プログラムソースリスト表紙例
- 別紙資料8 競技部門 システム詳細説明書
- 別紙資料9 競技部門 システム等の調書
- 別紙資料10 競技部門 チェックリスト

1. 大会全般についての連絡事項(各部門共通)

1.1 主催・共催・後援・協賛・役員

主 催	一般社団法人 全国高等専門学校連合会
共 催	特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会(NAPROCK)
後 援	文部科学省, 総務省, 経済産業省, 警察庁, デジタル庁, 香川県, 香川県教育委員会, 高松市, 高松市教育委員会, 香川県商工会連合会, 香川県商工会議所連合会, 一般社団法人ソフトウェア協会, 一般社団法人情報処理学会, 一般社団法人電子情報通信学会, 一般社団法人教育システム情報学会, 一般社団法人人工知能学会, 国立研究開発法人情報通信研究機構, 一般社団法人デジタル地方創生推進機構, 日本弁理士会四国会, NPO 法人 IT ジュニア育成交流協会, NHK, RSK 山陽放送, RNC 西日本放送, OHK 岡山放送, KSB 瀬戸内海放送, TSC テレビせとうち, CMS ケーブルメディア四国, FM 香川, 四国新聞社, 朝日新聞高松総局, 読売新聞高松総局, 毎日新聞高松支局, 日刊工業新聞社, 香川高等専門学校高松キャンパス後援会, 高松工業会(香川高等専門学校高松キャンパス同窓会), 香川高等専門学校産業技術振興会
協 賛	(株)NSD, さくらインターネット(株), (株)クレスコ/(株)クレスコ・ネクシオ, ピクシブ(株), (株)jig.jp, チームラボ(株), (株)日立製作所, (株)トヨタシステムズ, ネクストウェア(株), (株)シーエーシー, (株)FIXER, (株)ブロードリーフ, アドバンスドプランニング(株), インフォコムテクノロジーズ(株), (株)アイ・エス・ビー, (株)NTT データ フィナンシャルテクノロジー, (株)サイエンスアーツ, (株)デンソー, (合)DMM.com, コスモリサーチ(株), (株)サイバーエージェント, KDDI アジャイル開発センター(株), TDC ソフト(株), (株)アクセスネット, NTT ドコモビジネスエンジニアリング(株), (株)ビッツ, 国立研究開発法人理化学研究所 計算科学研究センター, (株)アイスタイル, 東京エレクトロン(株), メディア総研(株), NTT ME(株), (株)ラック, ソフトバンク(株), 東日本旅客鉄道(株), (株)PE-BANK, (株)NTC, (株)インテリジェントウェイブ, (株)ワコム, アイフォーコム(株), アイ・システム(株), オープンテクノロジー(株), (株)タブチ, (株)RKKCS, (株)朝日ネット, (株)日本総合研究所, (株)オブティム, RIZAP テクノロジーズ(株), (株)ジェイ・クリエイション, Extreme Networks (株), CafeGroup(株)

(8/10 現在)

大会役員

大会会長	一般社団法人 全国高等専門学校連合会会長 清水 一 道 (函館工業高等専門学校長)
副会長	一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長 柴 崎 年 彦 (東京都立産業技術高等専門学校長)
副会長	一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長 小 島 知 博 (サレジオ工業高等専門学校長)
副会長	一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長 上 田 悦 子 (福井工業高等専門学校長)
副会長	特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会理事長 桑 原 裕 史 (鈴鹿工業高等専門学校名誉教授・都城工業高等専門学校名誉教授)
副会長	第 38 回大会主管校校長 南 新 平 (久留米工業高等専門学校長)
副会長	第 37 回大会主管校校長 荒 木 信 夫 (香川高等専門学校長)

1.2 参加者

予選において全国高専から選抜された作品の制作学生及び指導教員

- | | |
|----------|--------|
| (1) 課題部門 | 20 チーム |
| (2) 自由部門 | 20 チーム |
| (3) 競技部門 | 56 チーム |

第 18 回 NAPROCK 国際プログラミングコンテストに参加する海外チーム

海外チーム 5 校 9 チーム

- ・課題部門：タイ高専 KMITL (タイ) 1 チーム
- ・課題部門：新モンゴル高専 (モンゴル) 2 チーム
- ・自由部門：新モンゴル高専 (モンゴル) 2 チーム
- ・自由部門：モンゴル科学技術大学附属高専 (モンゴル) 1 チーム
- ・競技部門：新モンゴル高専 (モンゴル) 1 チーム
- ・競技部門：モンゴル科学技術大学 (モンゴル) 1 チーム
- ・競技部門：ハノイ国家大学 (ベトナム) 1 チーム

1.3 審査委員

審査委員長

大場みち子 京都橘大学 デジタルメディア学部学部長 教授

審査副委員長

杉田 泰則 長岡技術科学大学 技学研究院 電気電子情報系 准教授

審査委員

綾塚 祐二 (株) クレスコ 技術研究所所長

新井 イスマイル 奈良先端科学技術大学院大学 総合情報基盤センター 教授

荒川 弘毅 (株) サイエンスアーツ 技術本部 技術部 エンジニアリーダー

池田 裕彦 東日本旅客鉄道(株) 代表取締役副社長

稲見 昌彦 東京大学 総長特任補佐・先端科学技術研究センター副所長・教授

犬塚 正 (株) トヨタシステムズ 新規事業推進部 部長

上原 隆平 北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 副学長・教授

瓜生 和久 (一社) ソフトウェア協会 専務理事

大成 崇幸 ネクストウェア(株) 執行役員 営業部長

大畑 朝子 アドバンスドプランニング(株) 制御システム事業部 マネージャー

岡澤 克暢 KDDI アジャイル開発センター(株) 取締役 / VPoE

奥村 充男 (株) デンソー 先端技能開発部 モビリティ実験室 室長

加邊 徹 (株) アイ・エス・ビー 人事部 シニアマネージャー

北岡 教英 豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授

久保 慎一 ネクストウェア(株)

黄 緒平 島根大学 総合理工学部 知能情報デザイン学科 准教授

酒井 美彩都 TDCソフト(株) デジタルテクノロジー本部 デザイン&テクノロジー
ーコンサルティング統括部 CX&UXデザイン推進部 マネージャー

佐藤 崇 (株) ビッツ 常務取締役

田中 拓行 コスモリサーチ(株) チーフエンジニア

鳥井 雪 (NPO) Waffle カリキュラム・マネージャー／プログラマー／プログラミング
書籍著述家・翻訳家

西川 和宏 NHK メディア技術局 コンテンツテクノロジーセンター デジタルソリュ
ーショングループ 部長

府川 和樹 ソフトバンク(株) 技術統括 コミュニケーションサービス開発本部 プラットフォーム統括部

サービスシステム開発部 サービスシステム開発1課 担当課長
 三浦 智和 (独)日本スポーツ振興センター デジタル推進室 主幹
 三浦 陸 (株)ブロードリーフ AIエンジニア
 道井 俊介 ピクシブ(株) 執行役員 CTO
 山口 武男 インフォコムテクノロジーズ(株) エンタープライズ第二本部 本部長
 吉田 育代 フリーランスライター
 鷺北 賢 さくらインターネット(株) さくらインターネット研究所 所長

(五十音順, 敬称略, 8/10現在)

1.4 会場案内

本選会場の主な施設名及び使用目的をお知らせします。

詳細な会場案内については付録1の会場案内図またはプロコン公式サイトをご覧ください。

1	開会式・閉会式, 競技部門会場	3F大ホール
2	課題部門デモ会場	1F展示場
3	自由部門デモ会場	1F展示場
4	課題部門プレゼン会場	5F54会議室
5	自由部門プレゼン会場	5F第2小ホール
6	学生交流会・特別講演会場	3F大ホール
7	情報交換会	5F第2小ホール
8	企業展示	3Fグランドホワイエ
9	救護室	1F主催者控室
10	参加者受付 (10月9日(金))	1F市民ギャラリー前
11	受付	3Fロビー
12	プロコン本部	3F控室

1.5 日程

10月9日(金)

	課題・自由	競技
17:00	17:00~18:00 参加者受付 (サンポートホール高松 1F 市民ギャラリー前)	

※ 各チームの引率教員および代表学生1名が受付し, 名札, 配布資料を受領してください。

※ 各校に配布したノベルティグッズ等は, 9日の受付時に持ち帰ってください。

※ 9日に受付できない高専は事務局に事前連絡の上, 10日開場後、直ちに3Fロビー受付で受付を済ませてください。

10月10日(土)

	課題・自由	競技
8:00	開場予定時刻 8:00	

8:30	8:30～8:50 参加者連絡会議 (展示場前)	8:30～8:50 参加者連絡会議 (大ホール)
8:50	8:50～9:20 システム搬入チェック (展示場)	
9:30	9:30～10:00 開会式 (大ホール)	
10:10	10:10～10:30 システムセッティング (展示場)	
10:10	10:10～16:44 プレゼンテーション審査 (課題:54 会議室, 自由:第 2 小ホール)	10:10～17:00 競技部門 1 日目 (予行演習・1 回戦) (大ホール)
10:10	10:10～17:00 デモンストラেশヨン 一般公開 (展示場)	
17:30	17 : 30～19 : 00 学生交流会 (大ホール) 情報交換会 (第 2 小ホール)	
19:00	終了	

10月11日(日)

	課題・自由	競技
8:00	開場予定時刻 8:00	
8:15	8:15～8:30 参加者連絡会議 (展示場前)	8:15～8:30 参加者連絡会議 (大ホール)
8:30	8:30～9:00 システムセッティング (展示場)	8:30～14:00 競技部門 2 日目 (敗者復活戦・準決勝・決勝) (大ホール)
9:00	9:00～10:38 デモンストレーション審査 9:00～12:02 マニュアル審査 9:00～13:00 デモンストレーション 一般公開 (展示場)	
14:30	14:30～15:10 特別講演会 (大ホール)	
15:30	15:30～17:00 閉会式 (大ホール)	
17:00	17:00～ 学生インタビュー (各部門の入賞者)	

1.6 提出書類等

[1] 9月1日(火)17:00 締切分

予選後にご案内しましたとおり、次の2種類の書類を、令和8年8月25日(火) 8:30 から 9月1日(火) 17:00 までの期間に、proconapp.com から提出してください。各書類の提出に当たっては、チェックリストにより内容を確認し、不備のないようにしてください。

期限までに提出がなかった場合や規定外のものが提出されると失格となることがありますので十分に注意してください。また、締切後の書類の差替えなどは認めません。

(1) パンフレット原稿

課題・自由部門の本選出場チームについては、本選時に配付するパンフレットの中に、発表要旨を掲載いたします。また、競技部門の本選出場チームは、同パンフレットの中にシステム概要を掲載いたします。公式サイトに掲載されている本選概要の執筆要項及び見本を参考に原稿執筆の上、課題・自由部門の本選出場チームは「発表要旨」を、競技部門の本選出場チームは「システム概要」をそれぞれ提出してください。図や写真については、カラーで印刷されますので効果的に使用してください。パンフレットの印刷の都合上、わずかの遅れも許されませんので、よろしくお願いします。なお、PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。なお、当日は公式サイトで、パンフレット原稿を閲覧できるようにします。

(2) システム等の調書

課題・自由部門については、proconapp.com の入力フォームに従って登録してください。特に、課題・自由部門の会場の設営に必要な情報ですので、「ハードウェア構成」の欄に機種名・台数等をできるだけ詳しく記述してください。今大会ではデモンストレーション会場において、主催者側ではインターネット接続環境を準備しません。競技部門については、Excel ファイル(別紙資料 9)をproconapp.com にアップロードして下さい。また、競技部門ではシステム等の調書に記載されていない機材は、競技部門会場への持ち込みを制限することもあります。詳細については高専プロコン公式サイトでお知らせします。

[2] 10月2日(金)17:00 締切分

予選後にご案内しましたとおり、次の資料を、令和8年9月25日(金) 8:30 から 10月2日(金) 17:00 までの期間に、proconapp.com から提出してください。

期限までに提出がなかった場合や規定外のものが提出されると失格となることがありますので十分に注意してください。また、締め切り後の書類及び動画の差替えなどは認めません。

【各部門共通】

(1) 著作物等の扱いに係わる同意書(各チーム1通)

- 「1.8 著作物等の扱いについて」に記載した内容(著作物等の利用に関する許諾)について、チームごとにPDF形式で提出してください。
- 同意書は、プロコン公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。
- 同意書には、登録されている指導教員及び学生全員が署名し提出してください。

(2) 緊急連絡先の登録

- proconapp.comの入力フォームに従って、引率教員と学生1名(代表学生)の連絡先(携帯電話の番号等)、宿泊先、宿泊日、総人数、借り上げバスの有無など(総人数、借り上げバスの有無についてはコメント欄に記述してください)をご登録ください。登録された内容は緊急連絡に使用し、大会終了後破棄します。

【課題・自由部門】

(1) プログラムソースリスト

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したもの、またはGitHubリポジトリのURLを提出してください。
- PDFで提出する場合はプロコン公式サイトから指定の表紙をダウンロードし、必ず付け、部門名、発表順番号、登録番号(100もしくは200で始まる5桁の番号)、タイトル、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- GitHubで提出する場合で、Privateリポジトリでの提出を希望する場合は、プロコン審査委員がソースコードを閲覧できるように、下記のプロコン審査委員用アカウントをCollaboratorsとして登録し、その招待用URLをproconapp.comに登録してください。
- プロコン審査委員用アカウント：**kosenPcnReferee**
- 本選では、提出されたPDFファイルまたはGitHubのリポジトリを審査委員が直接閲覧しますので、体裁を整えてください。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

(2) 操作マニュアル

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したものを提出してください。
- 起動から終了までのすべての手順を、わかりやすく記述してください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、発表順番号、登録番号、タイトル、学校名を明記してください。
- ページ番号をつけてください。
- 操作マニュアルは、表紙を含め12ページ以内で作成してください。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

(3) 作品紹介動画ファイル

- 作品紹介動画は3分程度とします。
- システムの特徴や有用性・制作上のポイントなどを紹介している動画としてください。発表者を含めた動画とする場合、服装と身だしなみは、学生に相応しい清楚・質素なものとしてください。
- 本動画ファイルは会場からのライブ配信等に使用するもので、審査結果には影響しません。
- 時間を超過する場合や不適切な表現が含まれる場合、再提出を求める、あるいは配信できないことがあります。
- アスペクト比は16:9とします。
- 音声有無についてはどちらでも対応可能です。
- 形式は、720p または 480p で、mp4 としてください。
- ファイルサイズは 100MB 以内とします。
- 上記の要件を満たすファイルを作成し、OS 付属のソフト(Windows 11 なら「映画 & テレビ」アプリ、macOS なら「QuickTime Player」)で再生できることを確認のうえ提出してください。

【競技部門】

(1) プログラムソースリスト

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したもの、またはGitHubリポジトリのURLを提出してください。

- PDFで提出する場合はプロコン公式サイトから指定の表紙をダウンロードし、必ず付け、部門名、登録番号(300で始まる5桁の番号)、チーム名、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- GitHubで提出する場合で、Privateリポジトリでの提出を希望する場合は、プロコン審査委員がソースコードを閲覧できるように、下記のプロコン審査委員用アカウントをCollaboratorsとして登録し、その招待用URLをproconapp.comに登録してください。
 - ◇ プロコン審査委員用アカウント：**kosenPcnReferee**
- 本選では、提出されたPDFファイルまたはGitHubのリポジトリを審査委員が直接閲覧しますので、体裁を整えてください。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

(2) システム詳細説明書

- システム詳細説明書は競技部門の審査に使用します。
- 様式に従いA4用紙1ページとし、PDFに変換したものを提出してください。
- プロコン公式サイトから所定の様式をダウンロードし、登録番号(300で始まる5桁の番号)、チーム名、高専名を記入してください。
- 問題解決へのアプローチ、システム構成、特徴などが審査委員にわかるように記述してください。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

(3) チーム紹介動画の登録

- チームメンバーを紹介する15秒前後の動画提出をお願いします。
音声有りの動画としますが、本番では音声流れないこともありますので、その点に留意して作成してください。
- 本動画ファイルは会場からのライブ配信等に使用するもので、審査結果 には影響しません。各チームの特徴などをアピールしてください。撮影後にPremiereやFinal Cut等で編集しても構いません。
- 時間を超過する場合や不適切な表現が含まれる場合、再提出を求める、あるいは配信・公開できないことがあります。
- アスペクト比は16:9とします。
- 音声有無についてはどちらでも対応可能です。
- 形式は、720p または 480p で、mp4 としてください。
- ファイルサイズは 100MB 以内とします。
- 上記の要件を満たすファイルを作成し、OS 付属のソフト(Windows 11 なら「映画 & テレビ」アプリ、macOS なら「QuickTime Player」)で再生できることを確認のうえ提出してください。

1.7 知的財産権の侵害について

作品の制作及び発表にあたっては、知的財産権の侵害のないように十分にご注意ください。過去の事例では、

- キャラクタの無断利用
- 音楽・映像の無断利用
- 文献等からの無断転載

などがありました。制作にあたる学生は、知的財産権についての理解が不十分なことも多いと思われるので、指導教員はその点について十分にご指導くださいますようお願いいたします。

1.8 著作物等の扱いについて

提出していただいた資料、撮影した画像・映像等の著作物については以下のように扱いますので、あらかじめご了承ください。

- 応募時に提出していただいた書類(作品紹介、応募内容ファイル)、9月1日(火)17:00締切で提出していただくパンフレット原稿(発表要旨、システム概要)、10月2日(金)17:00締切で提出していただく資料等(ソースリスト、作品紹介動画、操作マニュアル、チーム紹介動画、システム詳細説明書)は、コンテスト終了後、プロコン公式サイト等で全部もしくは一部を公開する場合があります。
- 課題・自由部門のプレゼンテーション及びデモンストレーションの動画を高専の教材として使用する場合があります。
- 本選の様様・結果をインターネット経由で公開する予定です。
- 例年通り、記録ビデオを編集し、YouTube等で配信するとともに高専プロコン公式サイト等で公開します。
- 本選期間中に撮影・使用された写真や動画類は、全国高等専門学校連合会や国立高等専門学校機構の広報活動に使用されることがあります。

1.9 行動規範について

全国高等専門学校プログラミングコンテストに参加する一人ひとり(高専プロコン参加学生・教職員・審査委員、協賛企業関係者、高専プロコン実行委員会関係者、その他関係者)が、規律ある行動をとる責務を負っていることに鑑み、参加者等が遵守すべき基本的な行動規範を定めています。

- <https://www.procon.gr.jp/conduct/>

1.10 表彰について

閉会式では表彰が行われ、以下の各賞が授与されます。

課題部門	自由部門	競技部門
最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞 電子情報通信学会若手奨励賞	最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞 電子情報通信学会若手奨励賞	優勝 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞 電子情報通信学会若手奨励賞
優秀賞	優秀賞	準優勝
		第三位
特別賞	特別賞	特別賞
敢闘賞	敢闘賞	

- 課題・自由部門全チーム及び競技部門全チームは、15時30分までに大ホールの指定座席に着席してください。
- 表彰の進行手順については閉会式の前に説明します。
- プロコンに多大な貢献をいただいている協賛企業から企業賞が贈呈されます。
- 本大会と同時に NAPROCK 国際プログラミングコンテスト(<https://www.naprock.jp/intprocon/>)を開催します。海外からの参加チームを含めて優秀なチームには、以下の各賞が授与されます。

課題部門	自由部門	競技部門
Themed section	Original section	Competition section

国際最優秀賞 Grand Prize	国際最優秀賞 Grand Prize	国際優勝 Champion
国際優秀賞 Second Prize	国際優秀賞 Second Prize	国際準優勝 First Runner-up Prize
国際特別賞 Special Prize	国際特別賞 Special Prize	国際特別賞 Special Prize

1.11 参加登録および昼食の予約について

昼食の弁当についての申込み締切は、8月28日(金) 23時59分です。参加登録受付システム(<https://va.apollon.nta.co.jp/procon2026/>)にて申込みください。参加登録受付システムについては、予選後に送付した「参加登録・宿泊・お弁当・その他のご案内」に詳細な申込み方法が記載されておりますので、ご参照ください。なお、参加登録・昼食の事前申込みをしていないチームは速やかに登録してください。昼食等の申し込みが不要でも参加登録は必ず実施願います。

事前に予約された昼食は、学校毎に1F市民ギャラリー前にて配付します。

昼食予約等に関する問い合わせ先

株式会社 日本旅行 大阪法人営業部

〒541-0051 大阪市中央区備後町 3-4-1 NANKAI 備後町ビル 6 階

TEL : 06-4256-3178

E-mail: osaka_salesoffice@nta.co.jp

営業時間: 平日 09:45～17:45 土日曜祝日休み

担当: 第37回 プログラミングコンテスト 受付デスク/源本

1.12 名刺クエストについて

第37回香川(高松)大会においても協賛企業と参加学生・教員の交流促進のため名刺クエストを実施いたします。さらに本年度も学生同士の名刺交換も実施します。企業と学生・教員間が名刺交換を行う「企業部門」と、学生同士が名刺交換を行う「学生部門」を設置し、交換した名刺の数を競います。企業部門と学生部門のそれぞれ上位チームに賞品を進呈します。

1.13 学生交流会

参加者同士の交流を促進するため、以下のような企画の実施を予定しています。

10月10日(土) 17:30～19:00 学生交流会 (大ホール)

詳細については、別途ご案内します。

1.14 情報交換会

引率教員と協賛企業の方々と交えた情報交換会を、以下のとおり実施を予定しています。

10月10日(土) 17:30～19:00 情報交換会 (第2小ホール)

参加費は無料です。教員・協賛企業の方々は参加をお願いします。

1.15 特別講演会

10月11日(日) 14:30～15:10 特別講演会 (大ホール)

講師: (株)大和総研 顧問 竹内芳明氏 (高松高専卒業生、前総務省事務次官)

1.16 会場使用上の注意点について

- 付録 1 に会場案内図を添付します。ご参照ください。
- 飲食は、屋上広場、楽屋、54 会議室（2 日目）でお願いします。
- 指定場所で飲食する場合は、床や椅子等を汚さないように注意願います。万が一、汚した際は、本部へ連絡願います。
- ゴミは必ず持ち帰ってください。

1.17 その他の注意事項

- テレビ・新聞・雑誌等の取材を受けた場合は、明るく活発な高専のイメージが出るよう、ご協力をお願いします。
- 本コンテストは、協賛いただいた企業やプロコン委員の先生方、主管校の教職員や学生等、多くの方々からのご支援を受けて開催されています。学生諸君は、感謝の気持ちを忘れないようにしてください。
- 参加学生の服装と身だしなみは、学生に相応しい清楚・質素なものとしてください。
- 貴重品は、身に付けるなどして各自で管理してください。
- プレゼンテーション会場、デモンストレーション会場、競技部門会場、開・閉会式会場では、必ずスマートフォン等はマナーモード等の着信音の出ない状態に設定してください。
- 本大会は、高松観光コンベンションビューロー開催支援制度及び香川県コンベンション誘致対策補助金制度を活用して実施します。県外参加者の参加者数及び宿泊者数の実績を証明するため、参加者情報（都道府県名・氏名・宿泊先・宿泊日）を（公財）高松観光コンベンションビューロー及び香川県交流推進部交流推進課に提供します。

1.18 問い合わせ先

本選実施要項及び本選に関する問い合わせは、必ず指導教員を介して下記へお願いします。

【問い合わせ】

第 37 回全国高等専門学校プログラミングコンテスト事務局

〒761-8058 香川県高松市勅使町 355

香川高等専門学校 電気情報工学科 教授 重田 和弘

Tel: 087-869-3913

学務課学生支援係長 白川 千代美

Tel: 087-869-3833 Fax: 087-869-3839

E-mail: jimu37@procon.gr.jp

2. 課題・自由部門についての連絡事項

2.1 システムの搬入・搬出について

- 搬送物品の個数について下記 URL または QR コードの Microsoft Forms アンケートより、指導教員が回答してください。(入力〆切日：10月5日(月)17:00 まで)

<https://forms.cloud.microsoft/r/1jbXAaKA1x>



送付先：

〒761-0019 香川県高松市サンポート 2-1

サンポートホール高松 1F 展示場

高専プロコン デモブース 宛

TEL:087-869-3833(香川高専学務課学生支援係)

時間指定：10月9日(金) 16:00～18:00

- システムの搬送は、ヤマト運輸を利用し、10月9日(金)の16:00～18:00にサンポートホール高松 1F 展示場（デモブース）宛に届くように手配して下さい。
- 各校からフリーダイヤル(0120-01-9625)へ連絡し、最寄のヤマト運輸営業所と搬送物品や搬送方法について事前に打ち合わせを行ってください。
- システム搬送にあたっては、大会リーフレット送付時に同封する伝票を利用してください。不足する場合は、各チームで伝票をご用意いただき同じ宛先を記入してください。
- システム搬送中の破損事故を防止するため、ヤマト運輸営業所担当者と十分に相談してから、発送してください。梱包は依頼者側で行い、全ての荷物の3面全てに梱包識別票を必ず貼付してください。(梱包識別票は、proconapp.com からダウンロードできます)
- 搬送物は、10月9日(金)の18時までに展示場（デモブース）に配送業者（ヤマト運輸）が直接搬入します。参加チームは、搬入された物品を10月10日(土)の参加者連絡会議終了後(概ね8:50)デモンストラーション会場に移動し、確認を行ってください。なお、10月9日(金)に開梱することは出来ません。
- 搬出については、10月11日(日)の13:00～14:30の間に梱包の上、大会リーフレット送付時に同封する着払いの返送用伝票と梱包識別票を貼付して、荷物受渡場所（1F 展示場）で大会スタッフのチェックを受けてください。なお、梱包に際しては、荷物の性質、重量、容積などに応じて運送に適した梱包をお願いします。

2.2 プレゼンテーションについて

(1) プレゼンテーション審査の概要

- システムの特徴や有用性、制作上のポイントなどの口頭発表を審査します。
- 発表は一人で行うものとします。
- 1 テーマあたりの発表時間は8分とし、質疑応答を4分とします。
- 設置するプロジェクタで接続可能なコネクタは「HDMI タイプA」が使用可能です。なお、スクリーンは1面のみ利用可能です。
- パソコン接続及び操作は、発表チームの学生が行ってください。
- プレゼンテーションツールを使用する場合はナレーションを入れることは認めません。必ず口頭で説明を行ってください。ただし、発表全体の構成上必要と思われる場合は、適切な効果音の使用は認めます。
- 発表順序は主催者側で厳正に抽選した結果、8月3日(月)付でプロコン公式サイトに公開した予選通過テーマ一覧のようになりましたのでご了承ください。

(2) 審査のタイムテーブル

- 付録 3, 付録 4 にプレゼンテーション審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意の上、遅れないように準備してください。

(3) プレゼンテーション審査についての注意事項

- 発表があるセッションが始まる前に、各発表者は会場で待機してください。また、担当者の指示に従ってパソコンを起動し、すぐに発表できる投影状態にして待機してください。
- 司会者に名前を呼ばれたら、登壇してください。
- 発表は 8 分、質疑応答は 4 分です。予鈴は 6 分で 1 鈴、8 分で 2 鈴、12 分で 3 鈴、終了です。発表の途中であっても、8 分を過ぎた時点で発表を打ち切り、直ちに質疑に移りますので注意してください。
- 審査委員の質問には、発表者だけが答えてください。
- ノートパソコンの操作要員として補助学生をつけても構いません。

2.3 デモンストレーションについて

(1) システム搬入チェック 【10 月 10 日(土) 8:50～9:20】

- 搬入された荷物は展示場に置いてあります。
- 荷物の個数の確認と、外形上の損傷の有無を確認してください。

(2) システムセッティング 【10 月 10 日(土) 10:10～10:30】

- ブースの配置と展示スペースの概略寸法は付録 5 を参照してください。
- システムをセットする机の後ろには、掲示用パネルを用意します。このパネルにシステムの概要を示す概要説明図等を掲示してください。概要説明図の内容は自由ですが、システム名(タイトル名)を明示してください。なお、説明は一般の入場者にもわかりやすいように工夫してください。
- 各作品は、机や発表者の椅子なども含めて幅 180cm、奥行 150cm、高さ 210cm の範囲内にセッティングしてください。発表者もこの範囲内でデモを行ってください。なお、机は幅 180cm、奥行は 60cm(机 1 台)または 120cm(机 2 台)です。標準は机 1 台としますが、システム等の調書で 0～2 台を選択することができ、椅子についても 0～2 脚を選択できます。
- 掲示用パネルは幅 172cm、高さ 180cm(ただし、下 63cm は机を設置した場合には見えなくなるので注意が必要)です。掲示用パネルへの資料の固定には養生テープおよび画鋲は使用できますが、セロハンテープやガムテープ等の粘着性の強いものは使用できません。ポスターなどの掲示に必要な物品・道具は主催者側では用意しません。必要に応じて各チームで用意してください。
- システム搬入に使用した“段ボール箱など”は、机の下に置いてください。納めることができない場合には、大会スタッフの指示に従って、所定の置き場に整理・整頓して納めてください。なお、机の下に置く場合は来場者から見えないように工夫してください。白のテーブルクロスを主催者側で準備しますので、必要な場合は利用してください。
- ブースあたり 500W の電源を用意します。1 チーム 500W 程度に収まるよう、作品を工夫してください。消費電力過剰による停電等が起きた場合、全チームに迷惑をかける場合があります。500W を明らかに超える場合は、バッテリー電源等、自家電源を用意してください。万が一停電等が原因で、作品に異常が発生し、審査結果に影響を与えた場合でも、主催者側では責任が取れません。バッテリー駆動できないハードウェアがある場合は無停電電源装置を持参するなど、各チームで安全対策を取ってください。消費電力過剰が疑われるチームに対しては、運営側の判断で作品の電源投入を制限する場合があります。各ブースには、電源タップは 1 個口しかありません。必要に応じて別途電源タップを各チームで用意してください。
- システムセッティングのときに、システムの消費電力の計測を行う予定ですので、協力をお願いします。

- 今大会では、各ブースへの有線によるインターネット接続は準備しません。インターネット接続を前提としたデモを行う場合には、念のため各チームで通信回線を準備してください。なお、通信回線を準備した場合でも、ブースの場所によっては通信が不安定になる可能性があります。そのため、インターネットへ接続ができなくてもサンプルデータ等で動作するよう準備しておいてください。
 - システムの最終調整とブース内の整理整頓を行い、システムの魅力が審査委員や来場者に伝わるようにしっかり準備してください。
- (3) デモンストレーション一般公開【10月10日(土)10:10~17:00, 10月11日(日)9:00~13:00】
- デモンストレーションは、学習や取り組みの成果を、学外の方々に公開する大きな意義があり、高専学生の熱気と創造性豊かなエネルギーを発表する場であることを十分に認識し実施してください。
 - 一般入場者にも、親切に分かりやすく説明してください。各テーマに精通した方や全くの素人の方の見学が予想されます。相手に応じた説明を心がけてください。
 - 一般公開は、プレゼンテーション審査、デモンストレーション審査及びマニュアル審査と並行して行います。
 - 各ブースでの審査時は、一般公開での説明などを中断してください。
 - 会場の各作品のブースには、説明者を常時2名以上配置してください。昼食などは交代で取り、説明者が不在とならないようにしてください。
 - 学生間はもちろん、協賛企業様などとの情報交換を積極的に行ってください。
- (4) デモンストレーション審査【10月11日(日)9:00~10:38】
- 審査委員は、グループに分かれ巡回審査します。審査委員が審査に来られたら、システムを実行させ操作しながら説明してください。また、審査委員の質問にも答えてください。
 - 審査時間は、説明時間が2分、質疑応答が5分、計7分を原則としますが、審査委員の指示にしたがってデモンストレーションを進めてください。
 - 審査対象は課題・自由部門の全ての作品です。
 - デモンストレーション審査は一般公開と並行して行われますが、審査を優先してください。審査には運営責任者としてプロコン委員1名がつきます。
- (5) マニュアル審査【10月11日(日)9:00~12:02】
- 提出した操作マニュアルどおりにシステムが動くかどうかのチェックを行います。マニュアル審査は1名で行います。審査委員が審査に来られたら、審査委員の質問に答えてください。
 - 作品の審査時間は、移動を含めた7分間です。
 - 審査対象は課題・自由部門の全作品です。
 - マニュアル審査も一般公開と並行して行われますが、審査を優先してください。審査には運営責任者としてプロコン委員1~2名がつきます。
- デモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブル
- 付録6にデモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意してください。
- (6) システムの搬出【10月11日(日)13:00~14:30】
- デモシステムを梱包し、各チームで返送伝票(着払い)を準備の上、梱包識別票を貼付して、所定の場所に搬入してください。(搬出場所：1F展示場)
 - 梱包に必要な資材は参加者で準備してください。
 - 搬出のための梱包が完了した時点で、搬出場所において大会スタッフのチェックを受けてください。

- “ごみの持ち帰り”や“忘れ物”には特に注意してください。
- 使用したブースの“後片付け”と“清掃”を実施してください。
- “後片付け”と“清掃”が完了したら大会スタッフに連絡し、チェックを受けてください。

(7) 学生インタビュー【10月11日(日)閉会式終了後】

- 閉会式終了後に各部門の入賞者はインタビューを行いますので、インタビュー会場に集合してください。インタビュー会場に関しては、当日、司会より連絡します。

2.4 本選審査手順について

I. 各審査委員における評定

1. プレゼンテーション審査：A, B, Cの3段階評価をします。
独創性(最重点)、システム開発の技術力(プログラムソースリストを含む)、記述力、発表能力、有用性等を総合して評価します。
2. デモンストレーション審査：A, B, Cの3段階評価をします。
独創性(最重点)、技術力、有用性、操作性、発表能力、発表揭示、完成度等を総合して評価します。
3. マニュアル審査：正確性・記述力に関してそれぞれ5段階、3段階の評価をします。
 正確性：

A	マニュアルどおりに動作する。
B	マニュアルどおりに動作するが、説明を受けないと分かりにくい。
C	一部マニュアルどおりに動作しない。
D	マニュアルどおりに動作しない状態が何箇所もある。
① E	マニュアルとして不備が目立つ。

 記述力： A, B, Cの3段階評価(わかりやすさなど)

II. 選考の流れ

1. 評定一覧表の作成
一覧表に、各審査委員からの評定(A, B, C等)を入力します。
2. 点数換算集計表の作成
プレゼンテーション、デモンストレーションの審査評定は下記のように換算します。
A=6, B=3, C=1; 各部門、審査委員の評定を合計します。
マニュアルの審査評定は下記のように換算します。
正確性に関しては、A=7, B=5, C=3, D=2, E=1
記述力に関しては、A=3, B=2, C=1
プレゼンテーション・デモンストレーション・マニュアルの評定を合計し総合得点とします。
3. 成績順位表の作成
総合得点の高い順にソートし、順位を算出します。
4. 選考の順序
以下の順序に従い、審査委員会で審議・合議の上、判断します。
 (i) 最優秀賞、優秀賞
得点のみの情報を提示し、上位ノミネートチーム数を決定します。審査委員ごとに、上位ノミネートチームについて順位を投票用紙に記入します。上位票における審査委員数の獲得数で文部科学大臣賞(最優秀賞)、優秀賞を決定します(新增沢方式)。
 (ii) 特別賞

(i)最優秀，優秀に選ばれなかったチームから，課題部門・自由部門とも4チーム以内で選考します。

(iii) 佳作

佳作に該当する作品があるかどうか，審議します。

※ 残りの作品は敢闘賞となります。

【参考】 新增沢式採点法 <https://ja.wikipedia.org/wiki/新增沢式採点法> (Wikipedia より)

3. 競技部門についての連絡事項

3.1 試合の実施

1 回戦 6 試合，敗者復活戦 3 試合，準決勝 4 試合，決勝 1 試合により行います。1 回戦は 10 月 10 日（土）に，敗者復活戦，準決勝，決勝は 10 月 11 日（日）に行います。各試合は入場から退場まで含めて 1 試合 10～15 分程度での実施を予定しております。また，試合開始前の「エージェント」のタイプを指定するフェーズにおいての解答時間は 1 分程度で，競技内の時間単位である「日」ごとの回答時間も 1 分程度です。

1 回戦の組み合わせは，コンピュータの擬似乱数により決定しました。決定した組み合わせは「付録 7 競技組み合わせ」の通りです。

3.2 予行演習

競技に先立って以下の通り予行演習を行います。全チーム参加してください。

日時：10 月 10 日（土）10:10～

会場：競技部門会場（大ホール）

予行演習は 1 試合 10 分程度での実施を予定しています。試合の流れを確認するための演習であり，試合終了までの流れを必ず確認してください。予行演習での制限時間は募集要項に示したものより，少なくなることがあります。

また，予行演習のスケジュール等は競技部門参加者連絡会議（10 月 10 日（土）8:30～，大ホール）で連絡します。全チーム必ず参加してください。

3.3 競技部門の賞

- 決勝での成績により，高専プロコン競技部門の優勝（文部科学大臣賞），準優勝，第 3 位を決定します。
- 応募書類，提出書類及び競技内容から特別賞を 3 チーム以内で選考します。選考方法は競技の順位によらず，アイデア・技術力・完成度をパンフレットに記載されたシステム概要を含めて評価するものです。

3.4 注意事項

- 競技ブースには，2 口以上の電源コンセントを準備します。必要があれば，各チームで電源タップを用意してください。1 チーム当たり 500W 程度の利用を想定しています。容量を超えないよう注意してください。
- 競技ネットワークに接続するために LAN ケーブルを各チーム 1 本用意する予定です。複数のコンピュータを競技ネットワークに接続する必要がある場合は，スイッチング HUB 等の機器を各チームで用意してください。
- チーム待機場所には既設の 2 口のコンセントがあります。競技部門で使用する物品のみとし，各チーム 500W 以内に納めてください。
- 競技部門で利用する機材等を搬送する場合は，宿泊先ホテルを宛先としてください。会場へ直接送付しないでください。
- その他，今後の追加情報等については，随時プロコン公式サイトに掲載します。必ず確認するようにしてください。